

平成 27 年度事業報告

平成 27 年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下をご報告いたします。

まず、第 3 期指定管理期間の 2 年目となった平成 27 年度の施設利用状況ですが、ホール稼働率は 58.5%で昨年比 1.5%減となりました。展示・多目的室稼働率は 67.7%で昨年比 3.6%増、そして、リハーサル室稼働率は 86.5%で昨年比 2.8%増となりました。ホールは修繕工事ため、1 ヶ月以上貸し出しをしなかったことが減要因の一つと推測されるものであります。展示・多目的室やリハーサル室は少人数での利用が可能であることもあり、平日利用も多く順調な結果となっています。一方、ホールの平日利用に関し稼働率をアップさせたいものの、個人、市民団体による発表会等は基本、土日祝日を希望する傾向にあることから、平日利用は厳しい状況が予測されるが、学校や専門系の団体等の行事やリハーサル等で利用していただけるよう引き続き案内をしていきたいと思っております。

なお、舞台修繕計画により平成 28 年 1 月からまで約 5 週間をかけ、ホールの舞台吊物ワイヤーロープ交換、調光回線と音響反射板の修繕、展示・多目的室の音響機器の交換を行っています。

次に自主事業ですが、ホールは 16 事業 24 公演（共催 3 公演を含む）、ロビーは 6 事業を実施しました。特に開館 20 周年を迎えたことから、鑑賞型事業でその記念企画として『ベートーヴェンをたたえて』の 3 回シリーズ、無料のご招待公演として「沖縄伝統芸能・組踊」、そして、狛江ゆかりの出演者による「ほし・そら・のはらうたコンサート」、「池田みさ子とロス・アミーゴス」の 2 公演を実施しました。『ベートーヴェンをたたえて』では、狛江ゆかりの指揮者、飯守泰次郎氏を迎えたオーケストラ公演（フレッシュ名曲コンサート、共催：公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本のピアノ界の第一線で活躍する 9 人のピアニストによるピアノ・ソナタ全曲演奏会、そして、開館以来の念願でもあった全員プロの音楽家による「第九」を実施し、好評をいただきました。他には「由紀さおり・安田祥子」を 13 年振りに実施し完売、初来日の周年記念イヤーで話題になっているビートルズのコピーバンドで、久々の外国人出演公演となった「ザ・リターン」を取り上げましたが、予想に反し販売に苦慮しました。また、狛江市からの委託事業として市内小学 5 年生を対象とした公共ホール音楽活性化事業ガラコンサートを実施しました。

自主制作事業は 2 つ実施、6 回目となった「オープンハウス」は市内在住の邦楽演奏家らと企画し、小中高校生の参加演奏やプロの演奏を、また、「エコルマ・アンサンブルコンサート」では市内小・中学校の卒業生で海外を拠点に活躍する音楽家を迎えた公演を行いました。ロビー公演では平成 24 年度エコルマホール新人・若手アーティストに対する文化芸術支援事業対象者がメンバーである弦楽四重団、地域に馴染みのある出演者等による公演を行い 4 公演が完売となりました。支援型事業に関しては公募により 1 団体を決定、実施いたしました。

お陰様で施設利用、自主事業とも多くのお客様に支えていただき、開館 20 周年を迎えることができました。今後も個人、団体関係機関のご協力を仰ぎ、充実した事業を実施して参りたいと存じます。